

第20回 青梅市公共交通協議会

基本計画推進状況について

1. 市広報による公共交通の利用促進について
2. 成木地区公共交通検討委員会の取り組みについて
3. サイクル&バスライドについて
4. 河辺下地区の取り組み状況について
5. 青梅市公共交通ガイドの改定について

平成28年12月22日

1. 市広報による公共交通の利用促進について

**お出かけには公共交通を利用しましょう！
乗って守ろう！使って育てよう！公共交通！**

市内には、電車だけでなく、バスやタクシーも運行しています。

バスには羽田空港など都心と青梅とを結ぶ路線バスもあり、タクシーは運行時

刻の制約がなく、ドア・ツリー・ドアのサービスも魅力的です。

秋の行楽シーズンや通勤・通学、買い物時などの外出の際には、電車やバス

などの公共交通機関を利用し、いつもとは違った気分
で出かけてみませんか。
問い合わせ まちづくり推進課



「広報おうめ」平成28年9月15日号(45, 750部印刷発行)

年末の深夜バスが

増便されます

公共交通機関を利用しましょう！

西東京バスでは、次の日程に限り深夜時間帯のバスを増便します。

駅北口着（2時17分）
運賃 1千380円

日程 12月9日（金）、16日（金）、22日（木）

その他 通常の深夜バス等も引き続き運行していますのでご利用ください。

対象路線（名称） 立川

河辺線（楽帰い！）

問い合わせ 西東京バス

増発便ダイヤ

立川駅北口発（午前1

時20分）↷ 拝島駅（1

時40分）↷ 福生駅（1

時51分）↷ 羽村駅東口

（1時59分）↷ 小作駅東

口（2時5分）↷ 河辺

青梅営業所 ☎ 32・06
21、市まちづくり推進課



「広報おうめ」平成28年12月1日号(45,000部印刷発行)

2. 成木地区公共交通検討委員会の取り組みについて

(1) 今年度の取組状況

【平成28年度】

- 第9回(平成28年7月22日)

成木地区における新たな交通の検討について

- 第10回(平成28年11月4日)

成木地区における新たな交通にかかる試算結果等について

《参考》

～成木公共交通検討委員会について～

成木地区においては、地区内の公共交通である都バス梅76・梅74系統が、平成26年4月より減便となった。このため、地域への影響把握や今後の対策等の検討を図るため、「地域住民による地域公共交通改善の手引き」(平成26年度青梅市公共交通協議会で策定した地域公共交通改善制度の支援マニュアル)にもとづき、成木地区公共交通検討委員会を発足した。

- 構成メンバー

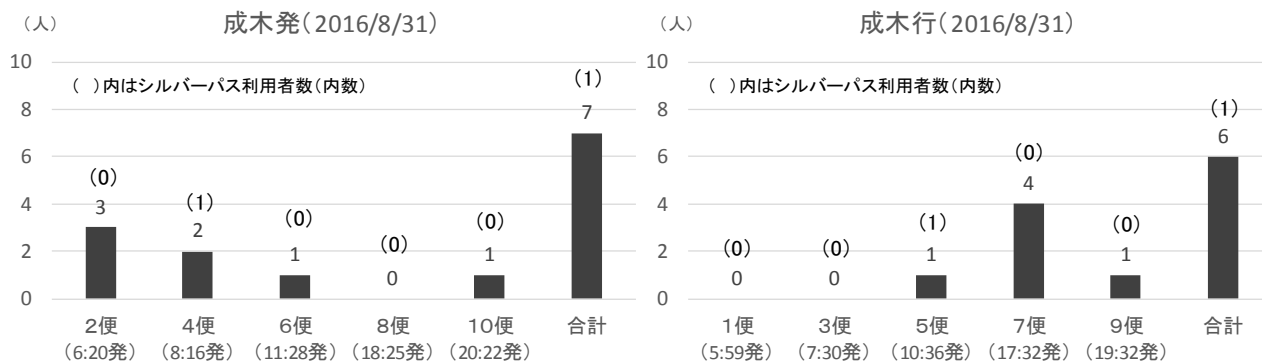
成木地区自治会長等12名

(2) 梅76利用状況調査

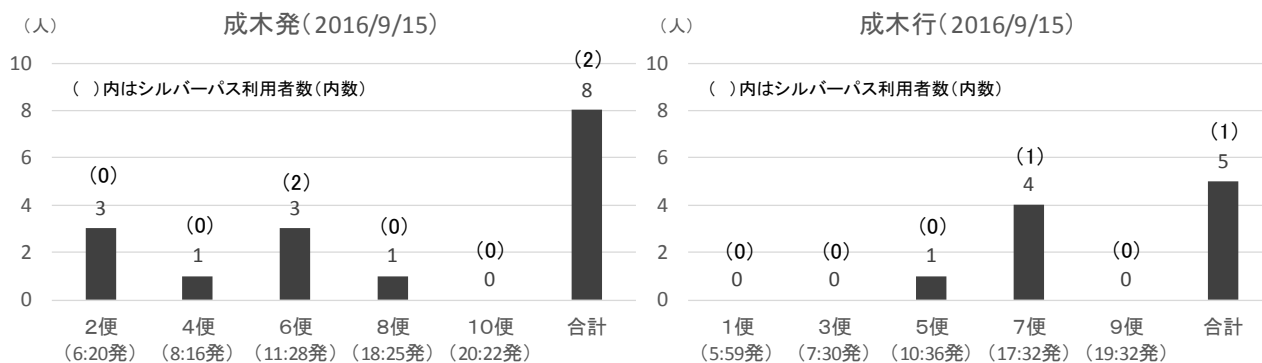
梅76の利用状況調査を2日間実施した。

両日とも、成木地区発着の利用者は13人であった。

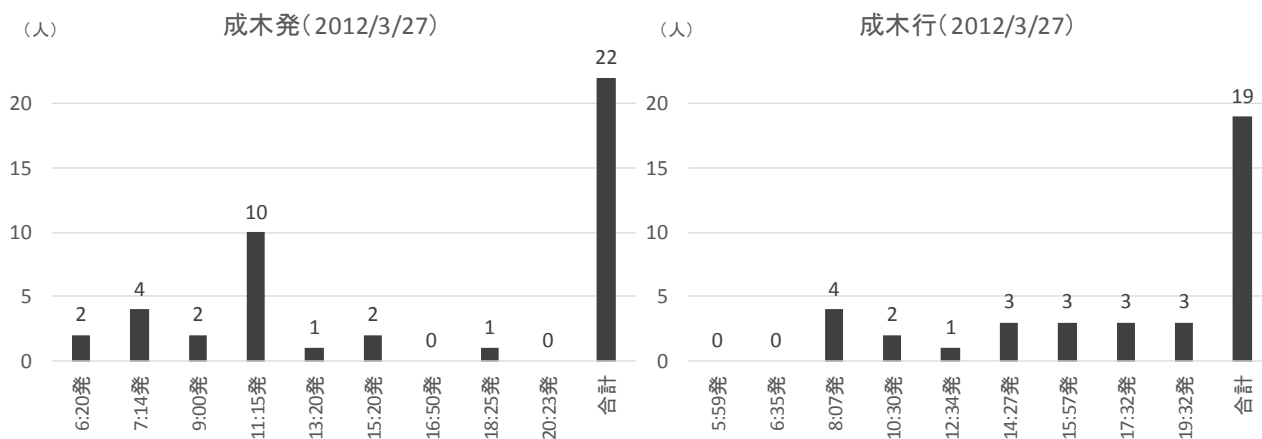
【調査日：平成28年8月31日水曜日】



【調査日：平成28年9月15日木曜日】



参考 【調査日：平成24年3月27日火曜日】

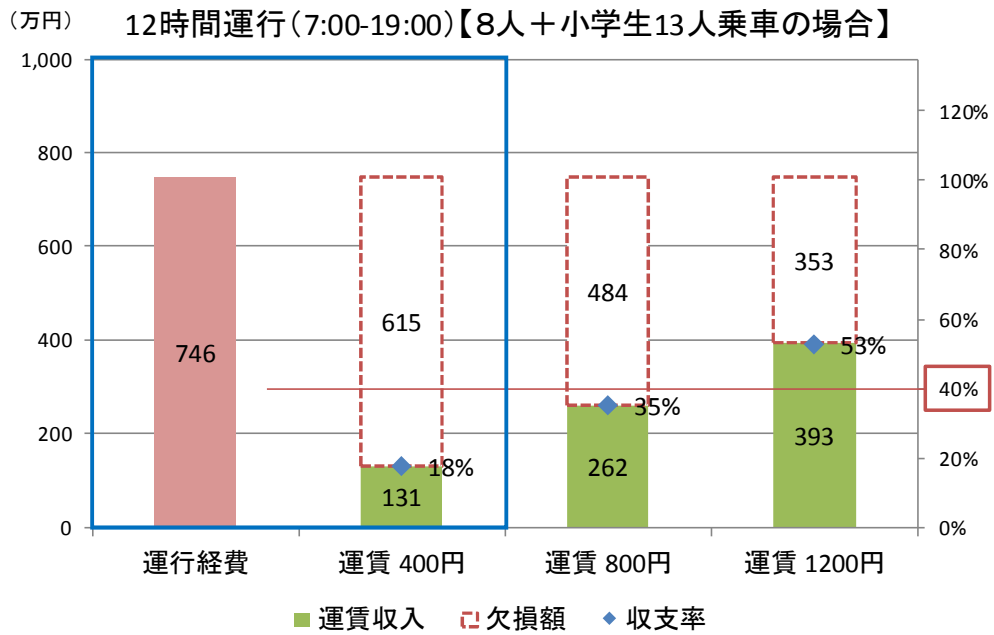
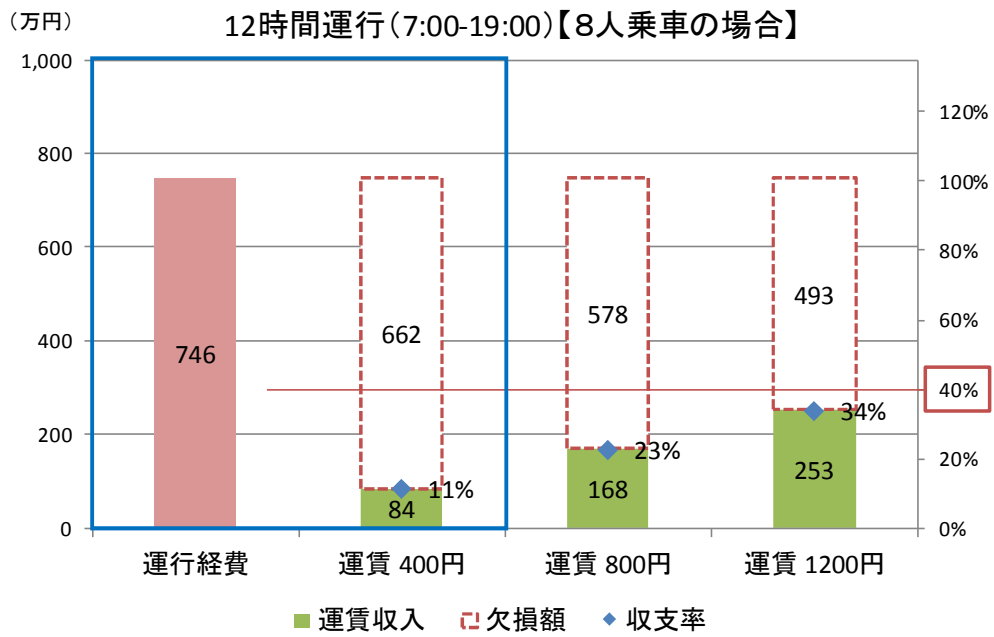


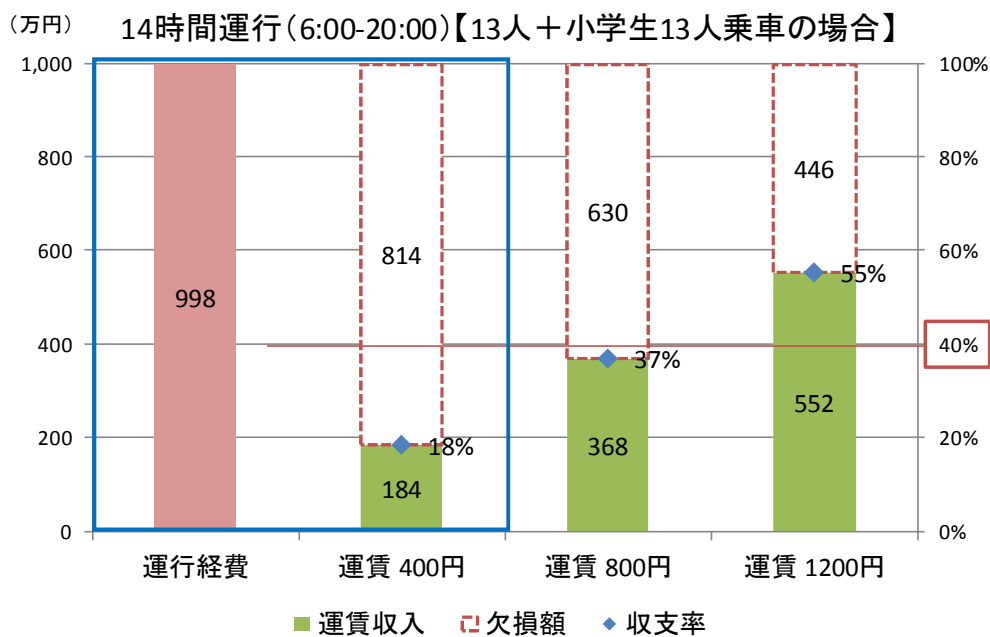
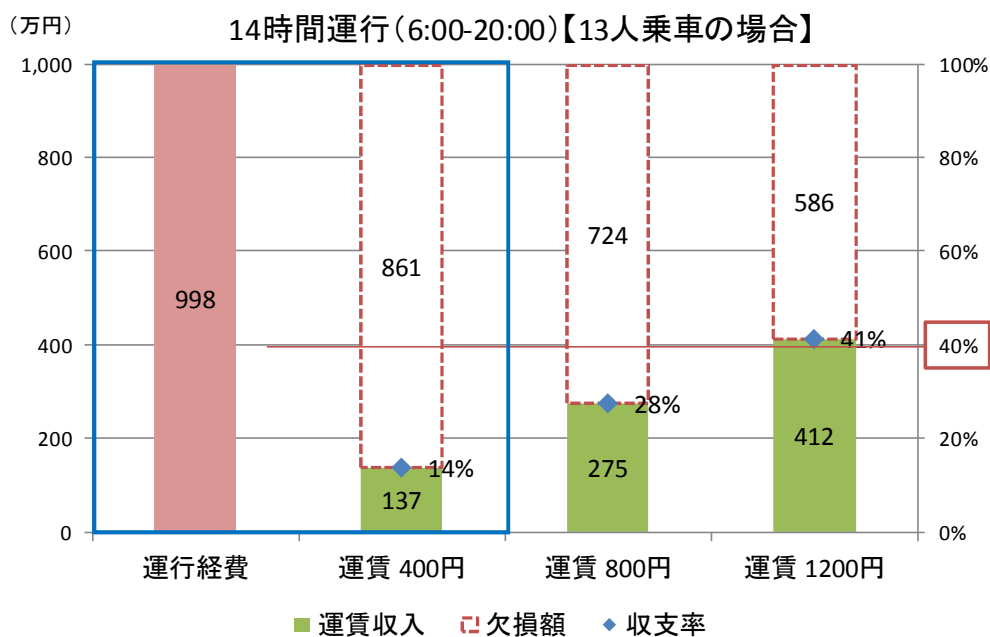
(3)概略運行計画(素案)試算

現在の都営バス利用者数をベースとして試算した、12時間運行と14時間運行の場合の収支状況を以下に示す。

【試算の前提】

経費	運行本数	9本
	運行時間帯	2ケースを想定 ・12時間運行(7:00～19:00／乗務員1人／都営バスより短い時間帯) ・14時間運行(6:00～20:00／乗務員2人／都営バスと同じ時間帯)
収入	1日の利用者数	・12時間運行の場合(7:00～19:00)・・・8人 ・14時間運行の場合(6:00～20:00)・・・13人 ※両ケースにおいて、朝1便を成木小学校へ乗り入れた場合も想定(13人の小学生が利用)
	運賃	・都営バスと同程度(上成木～東青梅駅:400円) ・小学生料金・・・大人料金の半額 ※青梅市公共交通基本計画において補助対象の基準としている 目標収支率40%を満たすにはどの程度の運賃水準が必要となるか併せて試算(運賃800円・1200円)

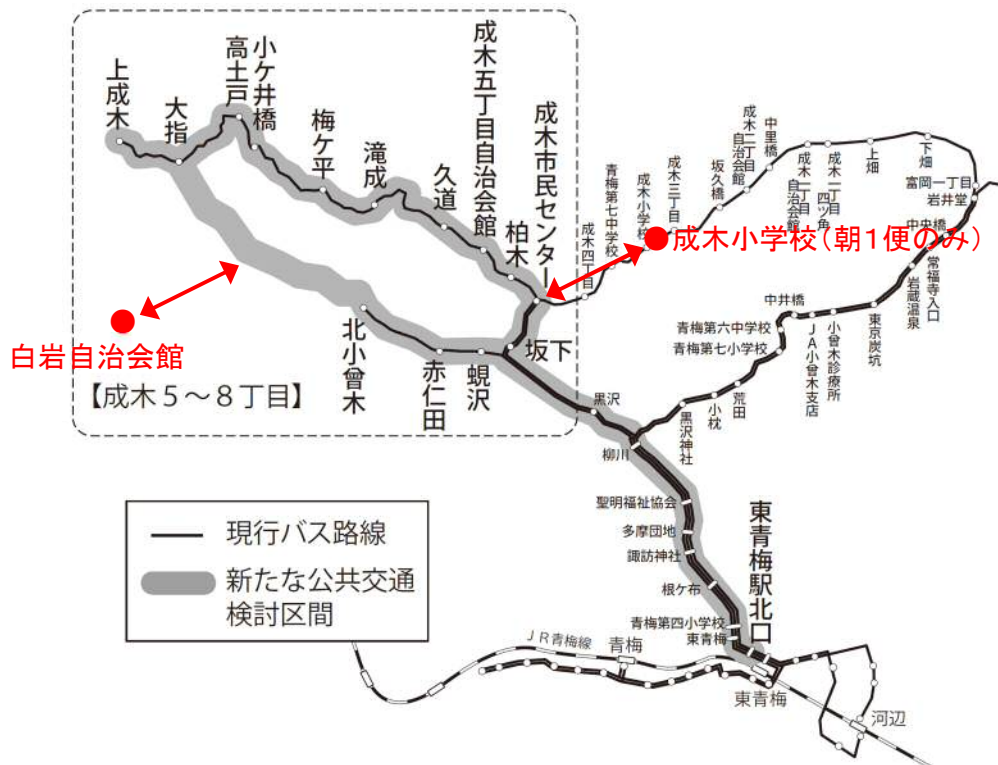




※なお、目標収支率40%を満たすには、どのくらいの利用者数が必要となるか、不足金額を利用者数に換算したところ、運賃400円の場合、12時間運行で27人(想定人数8人+19人)／日、14時間運行で 37人(想定人数13人+24人)／日の利用者が必要となる。

現行の都営バスと新たな交通について

	都営バス	新たな交通
運行本数	5本	9本
運行時間帯 成木発（始発） 成木着（最終）	06:20 20:12	7時台 19時台
シルバーパス	利用可	利用不可
白岩地区への乗り入れ	なし	あり
料金 （上成木→東青梅駅）	400円	収支率40% →1,200円
今後の動向	当面は維持	収支率40%を低下 →減便（廃止）



(4) 今後の方針について

【考察】

今回の梅76利用者数調査で、成木地区のバス利用者数が、41人(平成24年調査)から13人(平成28年調査)と、大きく減少していることがわかった。

目標収支率40%を確保するには、現在の運賃では3倍程度の利用者数が必要となり、現在の利用者数では3倍程度の運賃設定が必要となることが明らかとなった。

【検討委員会で出された主な意見】

- 新たな交通の導入は厳しいように思える。
- 新たな交通を導入しても、継続できなかった場合なにもなくなってしまうので、現状のまま都営バスの存続を図る。
- 都営バスがなくなったときに、今回の検討を踏まえて、さらに経費が安くなる方法を考える。
- 当事者(住民)に危機感がないので、考えを改めてもらう必要がある。
- 既存のバス路線の維持、新交通の導入、いずれも現状の利用者数では厳しいというのが実態で、今後の住民の減少、シルバーパスが使えないというデメリットもあり、本数を増やしても利用状況や住民構成や利用促進を考慮すると利用者数を増やすことは難しいのではないか。
- 都営バスの利用促進を進め、都営バスの維持を優先するしかない。
- 新たな交通の検討をしていることは住民にも知らせているので、これまでの検討結果をまとめて住民にも示す必要がある。

【今後の方針】

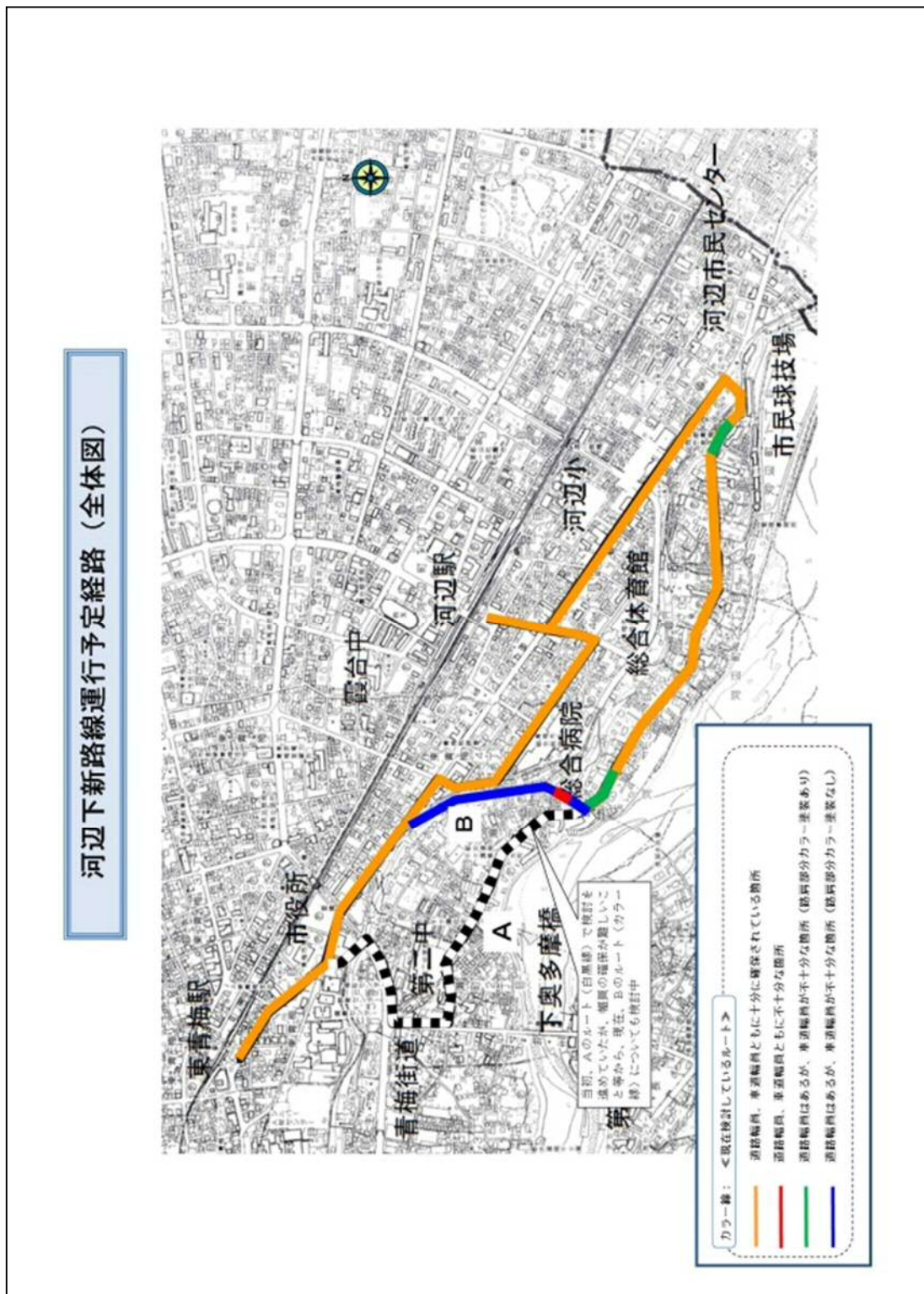
次回の検討委員会において、これまでの検討のとりまとめを行い、今後の方針を協議する。

3. サイクル&バスライドについて

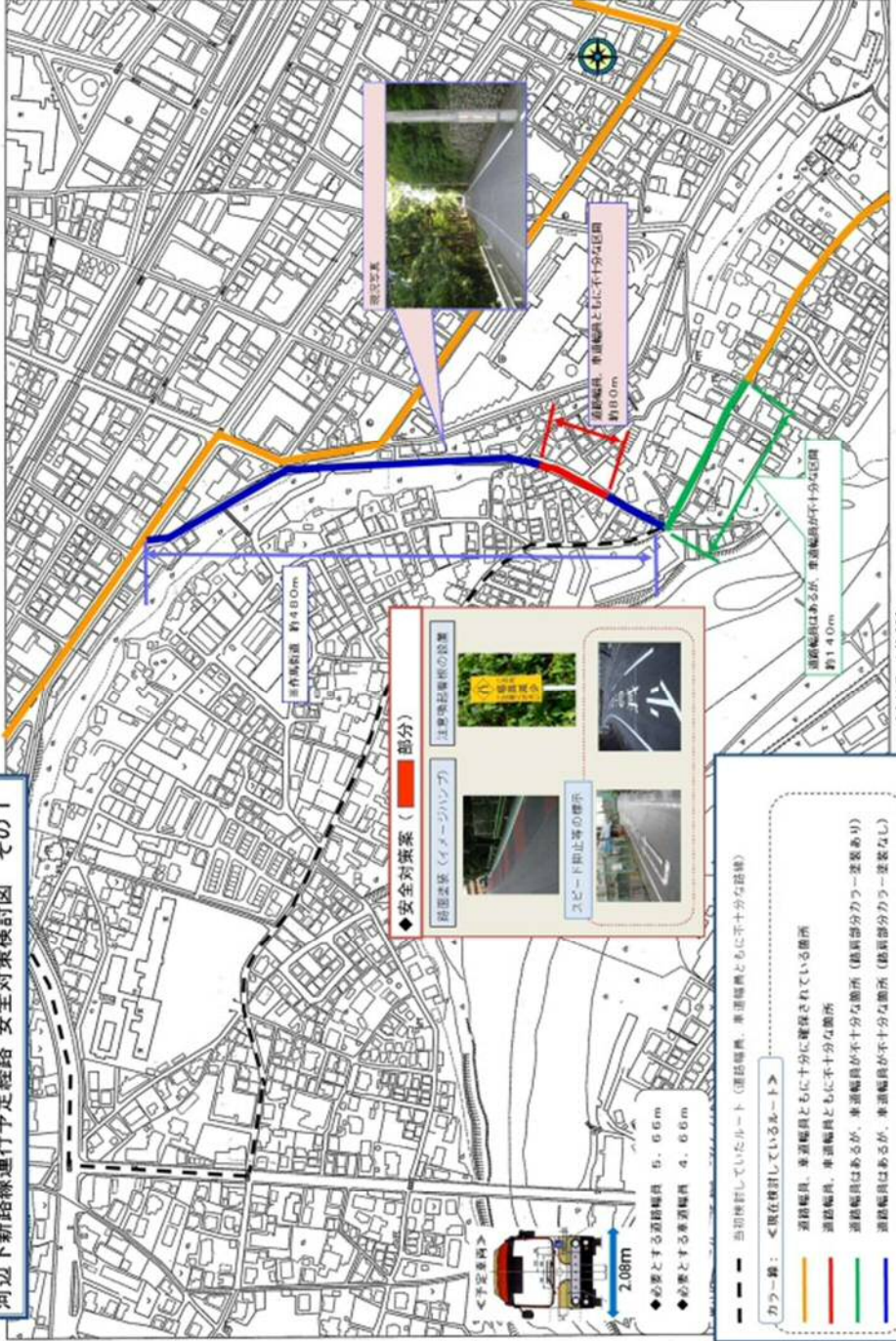
- 今井地区の自治会長会議において、バス停から離れた地区の住民がバス停へアクセスしやすくするためのサイクル&バスライドの取り組みについて説明
- 駐輪場の確保に向けて、現在七日市場バス停周辺において、候補地を検討中
- 平成29年度に実施する予定



4. 河辺下地区の取り組み状況について



河辺下新路線運行予定経路 安全対策検討図 その1



2.08m
 ◆必要とする道路幅員 5.65m
 ◆必要とする車道幅員 4.65m

- カウー線： <現在検討しているルート>
- 道路幅員、車道幅員ともに十分に確保されている箇所
 - 道路幅員、車道幅員ともに十分な箇所
 - 道路幅員はあるが、車道幅員が十分な箇所 (路肩部分カウー線あり)
 - 道路幅員はあるが、車道幅員が十分な箇所 (路肩部分カウー線なし)

SCALE : 1/3,000

河辺下新路線運行予定経路 安全対策検討図 その2

